

あいちの会 NEWS

第39号

発行責任者／北折健次郎 編集／あいちの会NEWS編集委員会
認定NPO法人 あいち骨髓バンクを支援する会 〒464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘1-22-7-105
[TEL&FAX] 052(712)0457 [E-mail] npoaichi@tj9.so-net.ne.jp [HP] <https://www.aichinokai.or.jp/>

ご挨拶

20年ももう半年が過ぎてしまいました。今年は新型コロナ感染症の影響で、2月後半から多くのイベントが中止となり、非常事態宣言が全国で出されたりと、皆様方も大変な状況だったと思います。私たちあいちの会の活動などが中止となりました。外出自粛の影響で多くの献血も中止となり併行して行われてきた骨髓バンクドネーション登録会も中止となりました。そんな中、多くの方に献血にご協力いただき、とても感謝しています。

この集合型イベントが中止になる中、長年参加している中部ウォーカソンがWEBで開催され（後述）、今までにない新たな試みが次々と生まれました。あいちの会でも、定期的に行っていた患者会「はなのきの会」の開催でしたが、ただでさえ感染症や合併症で外出する際もこわごわしていた患者さんたちは、今回のコロナ禍でさすがに立状態となっているため、Webでの患者会に挑戦することにしました（後述）。

わぬ形での2020年度の開始ですが、これから徐々に活動が再開されると思います。もちろん、今までと全く同じ訳にはいかなくなると思いますが、これを機会に今一度私たちの活動の在り方、仕方を見直す機会といたします。

北折健次郎

「バーチャル中部ウォーカソン5/24」に参加

年5月、愛・地球博記念公園にて開催される中部ウォーカソン、今年は29回目を迎きました。在日米国商工会議所支部と名古屋国際学園が主催のイベントで多くの方のご協力により開催、当日はいつもブース出展をして多くの方に骨髓やドナー登録の必要性、患者さんの事をお伝えしました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響でチャラ開催なりました。主催者、ご支援いただいた多くの方々のご協力により楽しい時間、有意義な時間を過ごす出来ました。感謝申し上げます。

までの事前プレゼン、当日の生参加はボランティアの足立和久さんと榎原愛さんのご協力で無事終えることができました。アフターコロナで今後の活動は変化していくと思います。今回の体験を今後の活動に活かしていくと思っています。

水谷久美

24日(日)、バーチャル中部ウォーカソン5/24に参加しました。今年は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となったウォーカソン国際チャリティフェスティバルにあいのプレゼンターとして参加いたしました。ZOOMアプリとFacebookのライブ機能を組み合わせた配信で、こちら側からはどのタイミングでライブ画面に映っているのかよくわからなかったので、プレゼンしながらもきちんと映っているのか声は聞こえているのかずっと心配が止まらなかったのですが、なんとか無事に終えることができました。

ゼンでは、あいちの会の活動、骨髓バンクで移植を待っている患者さんについて、会の運営や患者さんたちが新型コロナウイルス関連で受けている影響、ご寄付をいただけた場合の方(Tシャツ製作)について、それぞれ簡単にですがお話をさせていただきました。

のバーチャル中部ウォーカソンの映像は後日YouTubeなどでアップされました。<https://www.youtube.com/user/nagoyawalkathon/videos>はじめてのオンラインプレゼンで、いろいろと戸惑った部分も多かったのですが、とても勉強になりました。仕事ですが、まだしばらくはオンラインを活用しながらの活動が多くなると思うので、経験をまた別の活動でも活かしていきたいです。主催者、ご支援いただいた方々、配信をご覧くださいました。あいちの会や関係者の皆様、ありがとうございました。（あいちの会を支援する会 <https://www.youtube.com/watch?v=ak2qKasoav0>）



榎原愛

ドナー登録会報告

2019年12月～2020年6

| 実施日 | 実施場所 | 登録者数 | 実施日 | 実施場所 | 登録者数 | 献血ルート 実施日 |
|--------------|---------------|------|---------|------------------|------|--------------|
| 2019年 | | | | | | |
| 12/4(土) | 愛知産業大学 | 9 | 1/17(金) | 東浦町役場 | 3 | タワーズ2 |
| 12/7(土) | 日本福祉大学東海キャンパス | 14 | 1/22(水) | 東海工業専門学校金山校 | 3 | 12/22(日) |
| 12/8(日) | 豊川市総合体育館 | 1 | 1/29(水) | 岩倉市役所 | 0 | 献血ルームゲート |
| 12/9(月) | 中部大学 | 4 | 2/8(土) | イオンモール茶屋 | 4 | 12/22(日) |
| 12/10(火) | 尾張旭市役所 | 0 | 2/11(火) | イオンモール茶屋 | 2 | 1/26(日) |
| 12/15(日) | クリスマス献血キャンペーン | 0 | 2/13(木) | 桜丘高校 | 16 | 2/5(水) |
| 12/20(金) | 日進市役所 | 3 | 3/6(金) | 豊明市中央公民館 | 中止 | 2/23(日) |
| 12/22(日) | イオン大高店 | 3 | 3/12(木) | 株式会社シンテックホズミ本社 | 1 | |
| 12/26(木) | ホテルナゴヤキャッスル | 5 | 3/15(日) | ピアゴ大治店 | 中止 | 栄献血ルート |
| 2020年 | | | | | | |
| 1/6(月) | 蒲郡市役所 | 1 | 3/18(水) | 衣浦東部保健所 | 0 | 12/22(日) |
| 1/7(火) | 官庁街献血 | 4 | 3/22(日) | ヨシヅヤ津島本店 | 中止 | 2/23(日) |
| 1/8(水) | 官庁街献血 | 0 | 4/7(火) | 安城医師会安城碧海看護専門学校 | 3 | 岡崎献血ルート |
| 1/9(木) | 官庁街献血 | 4 | 5/10(日) | アピタ新守山店 | 13 | 12/22(日) |
| 1/10(金) | 津島市役所 | 1 | 5/15(金) | 豊橋駅南口広場 | 12 | |
| 1/15(水) | 稲沢市役所 | 7 | 6/15(月) | 小島プレス工業株本社 | 2 | |
| 1/16(木) | 豊田市役所 | 2 | 6/18(木) | 小島プレス工業株高岡工場 | 0 | |
| | | | 6/25(木) | 小島プレス工業株黒笛技術センター | 0 | |

小島プレス(株)登録会報告

小島プレス労働組合40周年の記念事業として2001年に初めて献血併行型ドナー登録会が開催され今年で19回目を迎えました。6月15日(月)／本社、6月18日(木)／高岡工場、6月25日(木)／黒笛技術センターにて開催、本社のドナー登録会に参加してきました。新型コロナウィルスの影響で多くの会場で献血併行型ドナー登録会が中止になる中、今年も開催いただけたこと感謝申し上げます。献血も例年と同様、多くの方にご協力いただきました。ドナー登録者数は2名、他登録には至りませんでしたが熱心にお話を聞いていただくこともできました。小島プレス工業株では2002年にドナー休暇制度を導入、提供しやすい環境を登録会が始まった翌年に整えてくださいました。現在までに243名の方にご登録いただき、2名の方にご提供いただきました。提供意思を確認する案内が届いたけど提供までに至らなかったという方もいらっしゃいました。



私のもう一つの楽しみ、皆様とお会いできることです。当時、登録会に関わってくださった方々が声をかけてくださいま今年も皆様にお会いできたこと嬉しく思います。4月28日(火)の中日新聞に小島プレス工業株の登録会、休暇制度のみについて掲載されました。その記事を見て休暇制度を導入したというケースもありました。骨髓バンクでは昨年度より制度を広めるための活動を積極的に行ってます。多くの企業や団体に広がることを切に願っています。 水谷

MONTHLY JMDPから抜粋 https://www.jmdp.or.jp/about_us/publishing/monthlyreport.h

「ドナー休暇制度」導入

597企業・団体に働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境作りのため、当法人では全国の企業・団体等で「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは597企業・団体です(6月1日現在)。ホームページにドナー休暇制度の導入企業・団体一覧を公開しています。中日新聞の4月28日付記事でドナー休暇制度が取り上げました。その記事を見て導入したというケースもあり、少しずつ反響が広がっています。関心をお持ちの企業・団体へは人の専門職員を派遣して導入に向けたご説明をします。これからも「ドナー休暇制度」の導入をいっそう推進してまいり ◇お問い合わせ先:広報課外部 ドナー休暇制度導入担当 TEL 03-5280-8111 ◇HOME > 募金ご協力のお願い > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業

愛知県の骨髄提供者助成事業について ~骨髄提供者の負担を軽減し、骨髄提供しやすい環境を~

骨髄及び末梢血幹細胞を提供されたドナーのための助成制度が全国の地方自治体・民間団体で導入されています。助成内容は各自治体・団体によって異なります。愛知県では、令和2年4月1日現在、県内50市町村で、骨髄提供者助成制度を実施しています。この事業は、骨髄移植(末梢血幹細胞移植を含む)を推進するため、骨髄提供者及び骨髄提供者勤務する事業所に対して、市町村が助成金を交付するもの(※)で、県では、その金額の1/2を市町村に補助します。
※助成内容・対象は各市町村によって異なりますので、詳しくは、直接、各市町村へ確認してください。(一部愛知県ホームページより抜粋)

活動報告

2019年12月～2020年6月

推進活動

- 12/22 クリスマス献血
12/22 クリスマス献血
1/25 患者支援シンポジウム
「白血病治療後の現状と課題」

愛知県内献血ルーム(4ヶ所)
イオン大高店
名古屋企業福祉会館

普及啓発活動

- 12/15 東浦マラソン
1/26 ファーストキフ・シネマダイアログ
1/29 中日ホームニュース取材
2/1 ファーストキフ・ポスターコンテスト
2/11 黄色いレシートキャンペーン活動
2/15 ファーストキフフェスタ
5/24 中部ウォーカソン・バーチャルイベント

あいち健康の森公園
名古屋市民活動推進センター
あいちの会事務所
イオンモール新瑞店
イオン熱田店
ナディアパーク2階アトリウム
あいちの会事務所(Web開催)

財団、全国協議会、関連団体

- 2/5 説明員実地研修会
2/8 骨髓バンク地区普及広報委員・
説明員研修会
2/15 東海北陸ブロックセミナー
2/29 全国協議会臨時総会
5/30 全国協議会設立30周年
記念式典・総会

献血ルームゲートタワー26
名駅花車デザイン会議室9階910AB
アスト津 ギャラリー2
こくみん共済 coop東京会館 3階会議室
あいちの会事務所
(Web式典・Web総会)

講演会・勉強会等

- 12/2 講演会(天理教愛知教区献血推進研修会)
12/5 説明会・講演会
12/18 講演会
2/4 講演会(一宮中ライオズクラブ例会)
2/26 講演会(一宮ライオンズクラブ例会)
2/27 説明会・講演会
3/10 説明会・講演会

天理教愛知教務支庁
津島市立看護専門学校
東海学園大学名古屋キャンパス
ザ・グランドティア一宮
一心
安城更生看護専門学校
安城碧海看護専門学校

患者支援活動

- 12/1 第14回患者会「はなのきの会」
1/25 患者支援シンポジウム
「白血病治療後の現状と課題」
6/7 第15回患者会「はなのきの会」

あいちの会事務所(Web開催)

会議・打合せ

- 1/21 ファーストキフフェスタ説明会
2/10 東海高校・中学
サタデープログラム36th打合せ
2/13 愛知県骨髓バンクドナー

名古屋市民活動推進センター
東海高校

愛知県三の丸庁舎8階 会議室801

総会・理事会

- 5/23 2020年度第1回理事会・通常総会
あいちの会事務所(Web)

献血と骨髓バンクドナー登録～若年層に向けての活動～

献血とドナー登録、どちらも若年層に向けての活動がとても大切です。近年、若い方の献血率が低下しています。輸血用血液は外科的な治療や出産時などに使用することもありますが、多くの血液は内科的治療、特にがん治療の患者さんたちが使用しています。輸血用血液の約85%以上を50歳以上の患者さんが使用しているといわれています。少子高齢化の中で、将来、輸血用血液が不足すると思われます。

骨髓バンクのドナー登録者数は現在50万人を超えるました。年代別にみると40代の登録者が約22万人、30代が約14万人となり、55歳のお誕生日で骨髓バンク登録から卒業される方のことを考えると、将来確実にドナー登録者数が今より減ります。今から若年層の登録者数を拡大しなければなりません。愛知県赤十字血液センターでは生徒さんや学生さんに献血について知り学ぶために「血液・献血セミナー」を行っています。職員が学校などに出向いてお話を聞いていただいている。あいちの会では「語りべ」事業を行い、骨髓バンクの現状や課題など、また患者さんやドナーさんにもご同行いただき、病気の事、移植の事、ドナーさんや患者さんへの「おもい」を伝えています。献血や骨髓バンクの話を聞いていただき、「いのちの大切さ」をお伝えし、献血やドナー登録拡大を目指しています。今後も血液センターの職員とともに専門学校や大学に出向き、一人でも多くの学生さんに献血の大切さ、ドナー登録の必要性をお伝えし、若い方への広報を積極的に行っていきたいと思います。



※写真は東海学園大学名古屋キャンパスでの活動

全国協議会主催「東海北陸地区ブロックセミナー」に参加

2月15日(土)、三重県津市の「アスト津 ギャラリー2」にて東海北陸地区ブロックセミナーが開催されました。テーマは「骨髓バンク等に関する課題解決に向けた取り組みについて」。参加者は三重県、岐阜県、三重県赤十字血液センター、三重県骨髓バンク推進連絡会議(勇気の会)、いしかわ骨髓バンク推進・はとの会、岐阜県骨髓献血希望者を募る会、東三河骨髓バンクを支える会、あいち骨髓バンクを支援する会の総勢29名、其々の立場の報告がありました。最初に三重県赤十字血液センターの岡田昌彦所長より骨髓バンクの現状と三重県における登録状況などの報告があり、その後、有効なドナー登録者を増やすためにはどうしたらよいか、提供をより行い易くするにはどうしたらよいかなどお話をありました。お話を伺い改めてボランティアとして何ができるかを考える機会となりました。次に三重県、岐阜県、愛知県の取組みが報告されました(愛知県は紙面での報告)。各県ごとに特徴があることがわかりました。東海地方の行政の積極的な取組みに改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。続いて田中重勝理事長から全国協議会のこれまでの取組みの報告、組織の概要、活動の骨子、2019年度報告、2020年度重点活動、特に設立30周年記念事業についての説明があり、最後に各地団体における取組みと意見交換が行われました。各団体の日頃の活動を伺い、改めてボランティアの底力を感じることが出来ました。年に一度開催されるブロックセミナー、各地のボランティアさんとの交流は日頃の活動のモチベーションを上げてくれます。日常の活動で気付かない事を気付かせてくれます。同じ目的に向かっている仲間だからこそ感じることが出来るのだと思います。来年も皆様とお会いできることを楽しみにしています。 水谷久美



患者支援シンポジウム～白血病治療後の現状と課題～

2020年1月25日(日)、名古屋企業福祉会館にて患者支援シンポジウムを開催しました。患者さんが治療前後に抱える様々な問題(QOLの向上、移植後合併症や不妊の問題等)や、退院後の就労・就労支援など患者を取り巻く現状と課題、解決方法など一緒に考えることを目的に開催しました。第1部はシンポジウム、第2部は交流会とし、シンポジウムについては3部構成で、1)の白血病治療(造血幹細胞移植も含む)における現状と課題についてでは、移植後のフォローアップについて名古屋医療センターの飯田浩充先生にご講演いただきました。化学療法の問題点、移植の問題点、各病気における移植の適応などお話しいただき、また、再発や非寛解期における最新の治療やHLA半合致移植のお話を伺うことができました。さらに移植後のフォローアップ外来におけるチェック項目やワクチン接種のお話、不妊などを含めた社会的精神的問題、小児科から内科への移行の問題点なども知ることができました。2)の就労支援の必要性では就労の現状を当会制作の演劇映像で観ていただき、その後いずれも移植経験者の社会保険労務士とキャリアコンサルタントのお二人から患者さんに向けて就労についてのアドバイスをいただきました。治療しながら就労する、病気の事を隠して就労する、発病と同時に離職してしまう。其々のパターンをわかりやすく演劇で表現し、患者の現状と今後を参加者とともに考え、アドバイスをいただきました。3)のパネルディスカッションでは患者さんにも参加いただき、発病から現在まで、どんな気持ちで治療、そして現在の就労に至るまでのおもいを語っていただきました。飯田先生、社労士、キャリンコとともに、患者さんが望む今後の人生について自身が考え、選択していくことを学びました。2部の交流会では患者さん、ご家族、医療関係者、就労に関わる方々、ボランティアがお茶とお菓子を片手に笑顔で交流する様子にこのような場の必要性を改めて考えることができました。今回のシンポジウムを終えて、今後も患者さんやご家族が必要とする情報や知識を発信、交流をもち、ボランティア団体として少しでもお力になれるよう活動を続けていかなければと改めて思いました。参加いただきました皆様、ありがとうございました。



水谷久美

第15回患者会「はなのきの会」

6月7日(日)、第15回患者会「はなのきの会」を開催しました。今回は「オンライン患者会」。あいちの会では年に2回(春、秋)、患者会を開催していますが、今年は新型コロナの影響で開催は出来ないかなと思っていました。そんな中、ボランティアからオンライン患者会の提案があり開催することが出来ました。提案したのは元患者さん、ご自身も定期的な通院時の感染などが心配でした。悩みや不安、今の気持ちを共有出来たらと開催に至りました。とは言え、初めての試みで分からぬこと、不安なことばかりでした。対面でないのに本当に共有できるのかな…。ルール作りも必要、オンラインについての知識も必要となり、事前の接続テストも行いました。そして患者会当日、11名の参加で患者会が始まりました。いつもの患者会と違いはありましたが、患者さんの笑顔と出会い、其々のおもいや現在の様子などを伺うことが出来ました。日々の暮らしの中での工夫していることなども共有出来ました。遠方からの参加などオンラインだからこそ実現できたこともあります。まだまだ問題点や課題はたくさんありますが、今後はお会いしての患者会とオンラインでの患者会を上手く活用して開催して行けたらと思っています。当日はNHKの取材もあり、患者会の必要性や今出来る患者会の様子を多くの方に知っていました。



水谷久美

当日私はファシリテーターとして参加をさせていただきました。今回のオンライン患者会ではウェブ会議システムZOOMを使用しましたが、通常の会場開催であればできる同時多発的な発言もオンラインになると聞き取りづらくなってしまうので順番にお話をいただいたり、お話したいサインを見逃さないように注意をしたり、はじめてのファシリテーターでしたがとても勉強になりました。無事に終えることができたのはご参加いただいた皆さんのご協力あってのことだと思います。オンラインだからこそ実現した参加もあり、アフターコロナでもうまくオンラインを取り入れながら続けていけたらいいなと思いました。

榎原愛

今までの患者会は、参加希望されてても当日の体調が悪くて参加出来なかったり、遠方にいて参加したいのだけど移動が心配で参加出来ない方など、多くの方が参加を見送られた経緯があります。今回のオンライン患者会では、東京や宮崎からの参加がありました。今まで諸事情で諦めていたことが、今回のことだからこそ可能になった部分もたくさんあります。健常人でさえ出歩くことをためらってしまう昨今、患者さんならなおさら外出することに恐怖を感じて孤立てしまっている方もたくさんいることでしょう。画面越しではありますが、こうして元気な姿を見ることが出来たこと、一人じゃないんだよ、いつでも繋がることができるんだよというメッセージを出していくことがとても大切だと感じました。

北折健次郎

寄付者名簿 ~多くの方のご協力に深く感謝申し上げます~ 2019年12月～2020年6月 敬称略・順不同

| 月 | 寄付者氏名・団体名 | 金額 | 月 | 寄付者氏名・団体名 | 金額 | 月 | 寄付者氏名・団体名 | 金額 |
|----|-----------------|---------|---|-----------------|---------|---|-----------------|--------|
| 12 | 西方大作 | 10,000 | 2 | 東海ろうきんNPO寄付システム | 38,900 | 5 | 埜口智代 | 10,000 |
| | 加藤武彦 | 10,000 | 3 | 毎日新聞大阪社会事業団 | 700,000 | | ファーストキフ寄付金 | 22,000 |
| | 東海ろうきんNPO寄付システム | 39,100 | | 水谷久美 | 10,420 | | 金澤信哉 | 10,000 |
| | 磯貝弘 | 3,000 | | 東海ろうきんNPO寄付システム | 38,600 | | 東海ろうきんNPO寄付システム | 38,900 |
| | 川地正敏 | 500,000 | | 朝比奈邦子 | 5,000 | | 鶴飼孝一 | 10,000 |
| | 山田重子 | 30,000 | | 相馬春雄 | 10,000 | | 今泉博充 | 10,000 |
| | 山下和重 | 10,000 | | ファーストキフ募金箱 | 4,500 | | 堂所旦 | 10,000 |
| | 匿名 | 9,000 | | あいちの会有志 | 24,868 | | 渡辺悦子 | 10,000 |
| | 匿名 | 10,000 | 4 | 光ヶ丘女子高等学校 | 40,000 | | 河橋宏政 | 5,000 |
| | 楠本茂 | 10,000 | | 中神立善 | 5,000 | | 伊藤康男 | 10,000 |
| | 東海ろうきんNPO寄付システム | 48,800 | | 磯貝弘 | 3,000 | | 東海ろうきんNPO寄付システム | 38,700 |
| | 榎原博行 | 10,000 | | 東海ろうきんNPO寄付システム | 39,200 | | ファーストキフ配当分 | 7,163 |

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

| 店舗名 | 期間 | 寄付額 |
|------------|-----------------|---------|
| マックスバリュ太閤店 | 2019年3月～2019年8月 | 25,000円 |
| マックスバリュ太閤店 | 2019年9月～2020年2月 | 15,100円 |
| イオン熱田店 | 2019年9月～2020年2月 | 81,100円 |

プリンター用ラベル・ミニコピア用インクカートリッジ・プリンター用インクカートリッジの購入に活用させていただきました。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーンとは

毎月11日の「イオン・デー」に、実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンが各団体に寄贈する取り組みです。(イオンHPから)

あいちの会 総会及び会計報告

令和2年5月23日(土)にあいちの会総会がWeb会議で開催されました。まだ非常事態宣言が解除されていない状況での会議のあり方を検討しましたが、やはりきちんと説明して開催すべきとの判断で早速Web会議システムを導入しました。初めての試みでありいろいろと問題点・改善点も見つかりましたが、今まで遠方の方で毎回委任状での出席であった社員も今回のWeb会議では参加することが出来ました。今後は参考集型の会議のみならず、Webなど併用しての会議など新たな方向性も見出すことができ、「ピンチはチャンス」を実感することができました。

昨年度も、多くの方のご寄付により活動を行うことが出来ました。私たちの活動は、ほとんど皆様方からのご寄付で成り立っており、とても感謝しています。しかしながら、寄付総額は徐々に減少をしており、活動も少しずつですが縮小傾向になっています。経費を厳しく削減しながら、なんとか黒字になっていますが、2月以来の活動がほとんど出来なかったため、その分必要経費(人件費、交通費等)の支出がなかったために黒字になったというのが実状だと思います。

今年度は認定NPO(※)の認定更新年です。まだPR活動が十分でないため、認定NPOのメリットを十分に活かしていると言えません。より多くの方にあいちの会の活動を認定NPO制度のことを知っていただき、さらなるご協力をいただけるよう、尽力していきます。

まだまだこのような状況は続くと思われますが、今まで通りではない、新しい生活様式に向けて、あいちの会も新しい情報発信の仕方を模索していきます。

北折健次郎

※認定特定非営利活動法人制度(認定NPO法人制度は、NPO法人への寄附を促すことで、NPO法人の活動を支援するために税制上の優遇措置として設けられた制度です。(内閣府ホームページより)

2019年度決算報告

収入の部

| 科目 | 予算 | 決算 |
|------|-----------|-----------|
| 寄付金 | 3,000,000 | 2,762,514 |
| 賛助会費 | 550,000 | 120,000 |
| その他 | 330,000 | 50,025 |
| 収入合計 | 3,880,000 | 2,932,539 |

支出の部

| 科目 | 予算 | 決算額 |
|----------------|-----------|-----------|
| 推進活動費 | 400,000 | 295,060 |
| 普及啓発費 | 400,000 | 459,684 |
| ボランティア活動費 | 100,000 | 101,537 |
| 通信費 | 300,000 | 292,689 |
| 事務所費(家賃・水道光熱費) | 500,000 | 448,893 |
| 会報発送費 | 520,000 | 234,961 |
| 人件費(給与・通勤手当) | 1,320,000 | 917,870 |
| 事務費・他 | 240,000 | 60,283 |
| 教育活動費 | 100,000 | 97,620 |
| 合計 | 3,880,000 | 2,908,597 |

収支差額▲ 23,942
次年度繰越金 3,120,457

MONTHLY JMDPから

R2.6.15 <http://www.jmdp.or.jp/data>

日本骨髓バンクの現状(2020年5月末現在)

| | 4月 | 5月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|--------|--------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 873 | 782 | 527,793 | 829,510 |
| 患者登録者数 | 201 | 165 | 1,879 | 59,320 |
| 移植例数 | 89(15) | 73(19) | — | 24,396 |

移植例数()内は末梢血幹細胞移植の実施数

■ 5月の区分別ドナー登録者数:献血ルーム／642人、献血併行型集団登録会／70人、集団登録会／0人、その他／70人

■ 5月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:843件 (注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

■ 5月年代別ドナー登録者数(現在数)

| | |
|-----|----------|
| 10代 | 4,335人 |
| 20代 | 82,363人 |
| 30代 | 138,363人 |
| 40代 | 223,551人 |
| 50代 | 79,181人 |

■ 5月の20歳未満の登録者／27人

| 愛知県 | 血液センター登録数 | | | 移植例数 24,396例、採取数 24,422例 | | |
|-----|-----------|-------|--------|--------------------------|-------|--------|
| | 5月登録者数 | 5月取消数 | 累計 | 患者居住地 | 移植数 | 提供者居住地 |
| | 68 | 87 | 21,527 | 1,456 | 2,065 | 1,468 |

※採取されたものの移植に至らなかったケース11例と翌月移植予定15件が含まれているため移植数と採取数は一致しません。

MONTHLY JMDPから ACジャパン骨髓バンク支援キャンペーン、1年ぶりに再開

ACジャパンによる骨髓バンク支援キャンペーンが、1年間の休止期間を経て今年再開されます。今回出演いただくのは、プロサッカー選手・早川史哉(はやかわふみや)さん[アルビレックス新潟]です。2016年、Jリーグデビュー直後に急性リンパ性白血病を発症し、同年骨髓バンクを介して骨髓移植を受け、その後約2年間の療養を経て2018年にピッチ復帰を果たしました。7月上旬よりテレビ・ラジオのCMとポスター・新聞等の広告展開がスタート。移植サバイバーとなった26歳のアスリートの躍動感あふれる姿をぜひご覧ください。

事務局だより

※皆様のご支援、ご協力により2019年度も無事終えることができました。ありがとうございました。名古屋市への事業報告書などの提出も終え少しだけホッとしています。今年度は認定の更新年です。余裕をもって提出書類の準備に入ります。

※新型コロナウイルスの影響で2月後半からの活動が中止、延期となりました。広報活動、ドナー登録会、講演活動といずれも多くの方が集まる場です。活動が出来ない、何も出来ないことに心が痛みました。3月、4月と日々が過ぎふと思いました。出来ない事を考えるのではなく出来ることを考えようと…。オンライン患者会、オンライン総会、オンライン広報活動と出来ることはたくさんありますね。ドナー登録会も少しずつ始まりました。一人でも多くの患者さんの笑顔と出会えるようボランティアの皆様と頑張ります。

あいちの会のHPが一新しました。是非お立ち寄りください。 URL:aichinokai.or.jp

ご寄付のお願い

あいち骨髓バンクを支援する会の活動は皆様の善意に支えられています。いただきましたご寄付は骨髓バンクドナー登録の拡大のため、また血液難病の患者さんやそのご家族のお力になれますよう、大切に使わせていただきます。ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

寄付受付

|一般寄付

この会の趣旨に賛同し、継続的にご寄付をしていただける個人、企業及び団体。

|賛助会員

※企業及び団体

一口30,000円/年

※個人

一口10,000円/年

ボランティアについて

|ボランティア会員

この会の趣旨に賛同し、運営や活動に直接関わっていただける方。(会費無料)会報や活動報告、イベント案内、骨髓バンクの情報などをお送り致します。



銀行口座
三菱UFJ銀行
金山支店 普通3654780

あいち骨髓バンクを支援する会は、名古屋市より「認定特定非営利活動法人(認定NPO)」として認められました。これにより、2016年2月2日より当NPOにご寄付頂ける個人・法人の皆さまは、寄付金控除の税法上の優遇措置を受けることが出来るようになりました。(所得税・相続税)

郵便振替口座
00890-0-76637

認定特定非営利活動法人
あいち骨髓バンクを支援する会